

平成 17 年 5 月 25 日

各 位

会 社 名 関東天然瓦斯開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐竹 誠
(コード番号 1661 東証第一部)
問合せ先 総務部副部長 水野彦二郎
(TEL 03-3241-5511)

BOGの需給に関する基本覚書の締結について

当社は、東京電力株式会社ならびに東京ガス株式会社の両社と、「ボイルオフガス(Boil Off Gas、以下 BOG という)」の受け入れに関し、「需給に関する基本覚書」を本日締結いたしました。

BOG は、LNG タンク内で液状の LNG の一部が気化し発生したガスのことをいい、今回受け入れの対象となるのは、両社の共同基地である袖ヶ浦基地において発生する BOG です。

当社グループはかねてより、将来の都市ガス事業向け需要の増加に対し、更なる安定供給を実現していくため、また、大口需要家向けの新規ガス需要に積極的に対応するために、新たなガス源の導入を検討してきました。

その結果、長期的にガス源として安定し、また、当社が生産している天然ガスと熱量・成分等性状がほぼ同一である BOG を選択することとし、東京電力株式会社、東京ガス株式会社の両社と協議を重ねた結果、このたびの合意にいたったものです。

なお、当社は BOG を導入するにあたり、平成 18 年 11 月末を目途として、両社の袖ヶ浦基地から、約 14km のパイプラインを敷設し、当社の子会社である大多喜ガス株式会社が所有する導管に接続する予定です。

記

購入先	東京電力株式会社ならびに東京ガス株式会社
購入ガス	ボイルオフガス(12A)、最大受入量 48 万 m^3 /日
パイプライン	口径 400 mm 距離 約 14km 最高使用圧力 1Mpa 未満 区間 千葉県袖ヶ浦市中袖～千葉縣市原市五井南海岸
建設費	約 27 億円
適用法規	ガス事業法
導入時期	平成 18 年 11 月末(予定)

以上

